

# 座・ガモールファーム 通信

Vol. 29 | 2025.05.01



埼玉校舎で育つさやえんどう。使われなくなったテニスコートのネットに這わせて育てています。

## 春野菜の収穫真っ只中。テラスには子どもたちが訪れる。

### 青葉の季節

4月が終わり新入生の方は大学に慣れてきた頃でしょうか。座・ガモールファームはこの時期そら豆やえんどう、玉ねぎなど様々な野菜が収穫を迎えます。気候も程よく、しばらくは過ごしやすい時間が続きそうですので、みなさんこの機会にぜひテラスや南門広場に遊びに来てみてください。テラスは活動時間以外閉まっているので、お昼休みなどが狙い目です。

毎年この季節は、朝日小学校の生徒の皆さんが農園見学にいらしてくれます。豊島区小学校でのSDGs教育のお手伝いをさせていただいたところから始まり、今年で4年目の交流となります。先日は2年生の生徒が大学を訪れ、テラスで育つ野菜に興味津々に見ていました。今月は6年生も見学に来る予定だそうです。(山本)



しいたけの原木栽培を始めました



# 今月の活動

## キャンパス農園班

皆さんこんにちはキャンパス農園班SPSの野沢奏です。桜の花も散りゆき新緑の眩しい季節となってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度のキャンパス農園班では1年生が4人、2年生が3人、3年生が1人、4年生が1人の計9人で活動していきます。新規に来てくれた学生がなんと5人もいることはありがたい限りです。

ここで改めてキャンパス農園班について簡単に説明をしようと思います。キャンパス農園班とは都市農業の実践を通じて地域とのつながりを深めることを目的とした学生主体の団体です。最近の活動では豊島区の社会貢献活動見本市に参加したり（3月号に掲載）巣鴨芋人プロジェクト（6月号に掲載）に参加したりしました。

昨年度は「学内外でのグリーンインフラの礎を作るための学び、システム構築及び発信」という目標のもとグリーンインフラについて勉強したり、新たな波板を使った栽培方法などに挑戦しました。私は1年目ということもあり右も左もわからないまま、先輩の背中を見てすすくとスナッフエンドウのように成長した1年でした。今年度の目標は「昨年度のコネクションを活かし巣鴨、滝野川地域の連携を強化しつつ、学生が興味のあるアクアポニックスなどの都市農業について見識を深める」というものになりました。困った時に頼りになる、後輩たちを導いていける。そんな先輩になりたいと思います。

6月には鴨台祭、7月には鴨台盆踊りなど学内のイベントへ積極的に参加していきます。鴨台祭とオープンキャンパスではキャンパス内の農園を案内するキャンパス農園ツアーを実施しております。機会がありましたらぜひみなさんもキャンパス内の農園に遊びに来てくださいね。それではまた、次号でお会いしましょう。



構内では水耕栽培の手入れもしています！

## 座・ガモールファーム



テラスで収穫したそら豆

5月になり、テラスでは春野菜の収穫がピークを迎えつつあります。今年は特にそら豆の育ちがよく、1つのサヤに4つも豆が入っていることもありました。先日朝日小学校の生徒が訪れた際には一人1つそら豆をお土産に持って行ってもらいましたが、まだまだ新たな豆が付きそうです。

春野菜の収穫が終わると次は夏野菜の植え付けが始まります。毎年恒例のさつまいもをはじめ、ミニトマトやバジル、ししとうやピーマンなど定番の夏野菜をたくさん育てる予定なので、みなさん夏を楽しみにしていただいています。

埼玉校舎では少し季節の移ろいが遅く、サヤエンドウの豆が付き始めました。また、埼玉校舎ではニホンミツバチの養蜂も行っています。ニホンミツバチは設置した巣箱に入ってきてもらい巣ができるのを待つのが基本のスタイルですが、とても繊細で、何かの拍子にすぐいなくなってしまうので、実際去年はハチミツを取ることは叶わなかったのですが、今年も挑戦です。

最後に、今年の新たな挑戦としてしいたけの原木栽培を始めました。こちらはホームセンターでホダ木を購入したものからのスタートです。果たしてしいたけは収穫できるのか、こちらも楽しみなどころです。

(山本)

## 詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

